

98BC・O 第1回宿題問題 問題I-1 について

宿題分科会

標記問題に対する SQC 部会からのコメントに対し、宿題分科会で議論した結果を報告いたします。

1.設問(1)(2)の表現について

採用するという文字は取ったほうがいいという指摘でしたが、従来どおりとさせていただきます。検定を行うときどのような立場かを示す必要があり、「小さくなっていれば採用したい」とか「大きくなっていなければ採用したい」というのは立場を明確にするに当たっては適当かと思えます。採用をするか、しないかは最後の設問(5)で問うており、ご指摘のとおり最後に議論することになっております。「小さくなっている」と「大きくなっていない」というのは日本語では同じことを意味していることになりませんか。

2.分科会としてもそれを期待して作成いたしました。

3.ご指摘のとおりと思えます。今回の問題では該当しませんが、今後はそのようにいたします。

4.そのような意見が出ることも予想しておりました。

5.点推定値、目標値、従来値の大きさはこの順になるように設定していましたが、ご指摘ではこれを目標値、点推定値、従来値の順にした方がよいということでしたが、次のような理由により従来どおりの設定といたしました。

(1) サンプルサイズが小さいため、信頼区間を計算すると、指摘のように設定すると、大きさの順は信頼下限、目標値、点推定値、従来値、信頼上限となってしまうことが多く、新開発の方法は従来法より良くなっているとは言えなくなります。このようにならないためには目標値をさらに小さくする必要があり、従来値に比べて目標値が小さすぎることで現実的な設定にならないことが考えられます。

(2) 点推定値が目標値より大きくなっているとき、次のアクションとしてサンプルサイズの見直しへ必ずしもつながらないのではないかと。

以上